

ほっかいっぱいみさきっ子



御前崎市立御前崎小学校 学校だより 令和2年度 11月号

コロナ禍で実施が危ぶまれた修学旅行ですが、11月5日(木)～6日(金)に実施することができました。子どもたちや保護者のみなさまの想いを元に、何度も検討を重ねて計画した修学旅行は、天候に恵まれ、6年生は風景や歴史、人の温かさを学ぶ充実した二日間となりました。

◆「富士山なめてた！」の言葉の意味は？

富士山世界遺産センターからの富士山を見て、ある男の子が思わずこうつぶやきました。

「いつもは青く見えているけど、実際に見たら、赤茶色だった。富士山、青くないの?!」という声も。海越しに眺めている富士山を間近に見て、その美しさや大きさ、迫力を改めて実感できたようです。



校舎から見た青い富士山



富士宮市から見た富士山

◆東京ではなくとも…手づくりのオリジナル修学旅行

例年は、東京方面へ出かけていた修学旅行です。東京は難しいと判断を伝えた段階で、最初はがっかりした子どもたち。でも、ここからが御小の子どもたちの何より素晴らしい資質なのが……。山梨方面ならばと、「絶対に富士急ハイランドは行きたい」「武田神社で必勝祈願をしたい」「科学館は学べそう」「体験も入れたい」など、気持ちを切り替え、ぐんぐん調べ学習を進め、テーマにぴったりのオリジナルプランを作り上げていきました。

◆テーマ ま(マナーや規律)・な(仲間との絆)・ぶ(文化にふれる)は大成功

ホテル売店の方が、「本当に、かわいい子どもたちですね。」とおっしゃいました。買い物中の子ども同士の優しいかわり、レジの方へのあいさつ、他のお客さんの邪魔にならないように考えて並ぶ姿など、御小の子どもたちらしさを見てくださったからです。

あいさつだけでなく、子どもたちが書いた旅の記録には、仲間の良さをたくさん見つけたことが書かれていました。

班のみんなが怒らなくなしたお財布をさがしてくれた、たけるさんの部屋長が頼もしかった、蘭さんがいつも気にかけてくれた、はるとさんがお店の人に「おいしかったです」とお礼を言っていた、みほさんがバスの中でみんなを楽しませようとがんばってくれたなどなど、ここには書ききれないほど、ほっかりパワーが満載でした。その他にも、

- ・ルールやマナーを守れて、まなぶが達成できてよかった。
- ・班の人が楽しそうでうれしかった。絆が深まった。
- ・高校生が「写真をとろうか」と声をかけてくれた。ぼくも大人になったら、声をかけてあげる人になりたい。 など、

どこに行っても、何を見ても、「仲間を気遣い、好奇心をもって学び、心から楽しむ」6年生。御前崎小学校の宝物の一つです。

保護者のみなさまをはじめ、関係のみなさまのご尽力に改めて感謝申し上げます。

(結局最後はいつも、お礼になってしまう校長 仁平美和子)



見事な虹 白糸の滝



ホテルでのテーブルマナー教室